

令和7年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名:河内長野市都市公園等

指定管理者名:公益財団法人河内長野市公園緑化協会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。		
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。		
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	B
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。		
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	B	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S: 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A: 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B: 協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C: 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入					
	自主事業収入					
	物品販売収入					
	手数料収入					
	指定管理料	205,874,000	205,874,000	0	201,981,000	
	その他収入					
	収入総額	205,874,000	205,874,000	0	201,981,000	
支出	人件費	35,968,000	37,661,175	(1,693,175)	36,944,960	
	事務費	5,249,000	5,860,607	(611,607)	6,828,837	
	管理費	155,816,000	168,265,508	(12,449,508)	153,205,580	
	自主事業経費			0		
	光熱水費	8,641,000	5,538,362	3,102,638	5,253,219	
	リース料	200,000	1,354,841	(1,154,841)	1,219,502	
	その他					
	支出総額	205,874,000	218,680,493	(12,806,493)	203,452,098	
収支差額		0	(12,806,493)	12,806,493	(1,471,098)	

3. 総合評価

自己評価

概要

令和7年度については、通常の指定管理業務はほぼ円滑に遂行出来たものと考えているが、クビアカツヤカミキリによるサクラの被害は老木化と相まって益々拡大しているように思われる。サクラ以外でも高木化、大木化への対応が予算的に追いつかず、市民要望に応えきれない状況であり、相当な積み残しが発生しており、苦情対応に苦慮している。指定管理業務外で市から委託を受けて伐採業務を実施したものの、当該年度だけでは処理しきれず、次年度に持ち越している状況である。

自主事業

リサイクル堆肥の製造販売、各種緑化教室の開催、緑化講演会等の自主事業は概ね例年どおり開催した。また、南花台のコノミヤテラスにて樹木について考えるワークショップを開催し、一定の市民に対する緑化啓発に寄与したものと考えている。しかし、寺ヶ池公園の指定管理業務が外れたことから、公園利用促進の分野については、新規事業を検討していく必要がある。

労務状況

昨年度採用した管理室長が年度途中で退職した。後任を探し、何とか嘱託職員として採用したが、そのブランクによって一時的に業務が停滞した。また、プロパー職員の補充は以前からも市へ要望しているものの未だ実現していない。現在臨時的に職員で対応しているが、業務に支障を来している。

市評価

・近年被害が顕在化しているクビアカツヤカミキリによる桜の枯損木に関して、倒木や落枝の危険がある木を一定数処理し、公園内の安全確保に努めた点について評価する。

・数多く寄せられる公園、緑地の維持管理に関する要望に対して、優先順位をつけ、効率的かつ効果的に対処した点について評価する。また、それらの要望に対して、限られた予算のなか、可能な限り職員直営作業により修繕を行う等、経費の縮減に努めたことを評価する。

・新たな取り組みとして、地域住民を交えて地域の樹木について考えるワークショップを行い、緑化に対する意識の醸成に寄与したことについて評価する。

・令和7年度末時点、専門的資格を有する人材が不在となっている。緑化に関する相談や、ボランティア団体等の相談対応を行うにあたり必要な人材であると考えられるため、今後、専門的な資格、技術を有する人材の確保に努めることを期待する。

・令和7年度に指摘したホームページ掲載内容の精査について、一定の進捗があった点の評価する。今後もホームページを起点に各種SNSを活用し、協会の認知度向上及び公園に関する情報の発信を行い、公園利用の促進につなげることを期待する。